

(臨床研究に関するお知らせ)

和歌山県立医科大学附属病院血液内科に、悪性リンパ腫で通院歴のある患者さんへ

和歌山県立医科大学血液内科学講座では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご説明するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、本学倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

再発難治性悪性リンパ腫に対する ACES 療法に関する後ろ向き観察研究

2. 研究責任者

和歌山県立医科大学附属病院血液内科 講師 蒸野 寿紀

3. 研究の目的

悪性リンパ腫に対する初回化学療法としては CHOP 療法が確立され、約半数の患者さんで治癒が得られるようになってきました。一方、CHOP 療法に対し治療抵抗性を示す患者さんに対する標準化学療法は確立されていません。当科ではこれまで、このような再発難治性悪性リンパ腫の患者さんに対して、救済化学療法として ACES 療法を行ってきました。本研究では、ACES 療法を受けた患者さんの、悪性リンパ腫に関するデータと治療経過中の検査結果、画像所見を用いて ACES 療法の有効性と安全性を評価します。これにより、ACES 療法の有効性と安全性を明らかにし、至適な救済化学療法について検討することがこの研究の目的です。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

再発難治性悪性リンパ腫の患者さんで、2013年4月1日から2018年12月31日までの期間中に、ACES 療法を受けた方

(2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、悪性リンパ腫に関するデータと治療経過中の検査結果、画像所見に関する情報です。また、治療経過中の有害事象、原疾患の経過、生存状況も合わせて調査します。

(3) 方法

診療録(カルテ)より、悪性リンパ腫に関するデータと治療経過中の検査結果、画像所見を抽出し、生存期間や有害事象発生割合、重篤な有害事象発生割合について統計学的解析を行います。

5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報公表されることはありません。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。

研究対象から除外させていただきます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

7. 問い合わせ先

和歌山市紀三井寺 811-1

和歌山県立医科大学附属病院血液内科 担当医師 蒸野 寿紀

TEL : 073-441-0665 FAX : 073-441-0653

E-mail : mushino@wakayama-med.ac.jp